

特集 :おらほの農地集積】

「委員会がリーダーシップを発揮！！」 ~委員会の連携で円滑な農地集積~

うちのうら

内ノ浦地区

1.地区の概要

事業名	県営ほ場整備事業(担い手育成型)	担い手農家戸数	6戸1組織
関係市町村	鹿島台町	担い手経営面積	
関係土地改良区	鶴田川沿岸土地改良区	(実施前)	18.7ha
工期	H10~H16	(H14)	45.6ha
受益面積	86.9ha	農地集積増加率 (H14)	71.9%
総事業費	1,213百万円	農地集積率 (H14)	52.5%



2.各委員会の連携で事業がスムーズに

内ノ浦地区の集積率は、平成14年度末現在において完了時目標である31.9%を大きく上回り52.5%となっている。これは地区面積が86.9haと比較的小規模であるため、地区の状況が把握しやすく、農用地の利用調整が図り易かったことに加え、ハード面を受持つ実行委員会、換地委員会、評価委員会の正副委員長と集落からの代表3名を加えた「農地集積事業推進会議」が積極的に活動してきたためである。

言いかえるとハード面の調整を図る委員が、ソフト面における農地流動化の実践部隊となることにより、農地集積に係る調整が円滑に図られてきた。

また過去に一般型のほ場整備事業を実施してきた各委員会の役員は経験が豊富であり、地域のリーダーとして積極的な活動を展開している。



【H15 第1回農地集積事業推進会議】

3.換地と農地集積の一体的推進

前述のとおり、当地区ではハードとソフトの連携を図って事業の推進を行っていることから、合同委員会の開催も多くなりがちだが、「地域の発展のために」と各役員は身を粉にして奮闘している。

当地区における集積の手法としては、農地集積事業推進会議でとりまとめた集積案を換地委員会に諮り、この集積案をもとに一時利用指定の原案を作成し、その指定が確定し次第農作業受委託の取りまとめを行っている。これにより農地流動化の円滑な流れが維持されてきた。これは農地集積と換地の一体的推進による成果であるといえる。

しかし、担い手が農地集積事業推進会議の役員となっている場合があり、集落をまわる際の単独行動は誤解を招く可能性があるため、複数で行動するよう徹底している。また最近では作業受託から発展して利用権設定になる場合も多く、一時利用指定公開時に利用権設定者の面積が目立って大きくなることもあるため、図面に所有者名も記載することでトラブルを未然に防いでいる。

4.転作ブロックローテーションの取組み

内ノ浦地区は当初、地区面積(86.9ha)に対し担い手が(7名)多く、事業採択を受けた平成10年、参加農家戸数8名で設立された「内ノ浦エイト農産組合」は、活性化計画における担い手として位置付けられなかった。

しかしその後、集落農場構想が持ち上がったことにより、地域農業の担い手に位置付けようという声が高まり、平成13年に農業農村活性化計画書の変更を行い、現在に至っている。

【普通型コンバインによる小麦の刈取り】



平成13年度の面工事後には、鹿島台町水田営農活性化対策室並びにJAみどりのが窓口となって、1サイクル3年の転作ブロックローテーションが提案され、平成14年度から実施しており、現在エイト農産組合は、このブロックローテーションの中心的役割を果たしている。

5.レーザーブラウ、レベラーによる反転均平工法

平成12年度にレーザーブラウ、レーザーレベラーにより「反転均平工法」を2ha試験施行した内ノ浦地区は、平成13年度にその規模を23.6haにまで拡大している。

通常、面工事を施行した後のほ場は、地力の低下が見られ回復するまで水稻の収量が落ちる傾向にある。しかし「反転均平工法」を取り入れた区域では収量の低下が見られなかったことから、その規模を拡大しつつある。また県では、この工法の効果検証として、作業効率の変化と作物の生育環境の調査を実施中である。

このような実績から、面工事实施後に行った意向調査では、耕作者の6割以上が「反転均平工法を望む」という結果が出ている。



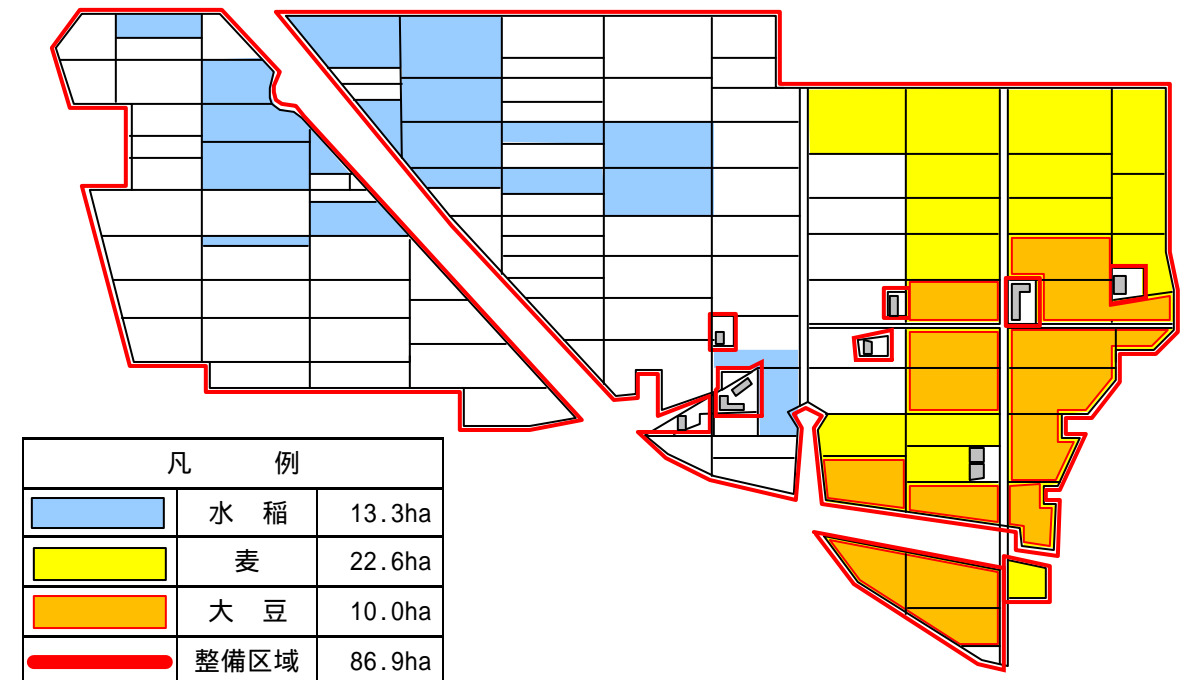
【レーザーブラウによる反転状況】

6.「集落農場」を目指して！

鹿島台町は宮城県の中央部に位置し、「ささにしき」「ひとめぼれ」の良質米をはじめ、仙台牛、ほうれん草など優良農畜産物を産し、県内でも有数の農業生産力を誇っている。しかしながら耕地に占める水田の割合が高く、稲作依存体質の強い生産構造である。このため今後は稲作に依存した体質から脱却し「米政策改革大綱」の主旨を十分に踏まえたうえで水稻、転作作物の生産を進め、それに対応する望ましい担い手の育成と地域特性を活かした水田農業構造をつくりあげることが必要である。

このため町では「集落農場構想」を推進しており、当地区においても地区外を含めた水田面積約95haを土台に、4実行組合を単位として「集落農場」の実現に向けた取組みを始めている。

【平成14年度 農地集積状況図】



- 問い合わせ先 -
〒989-4104 志田郡鹿島台町広長字内ノ浦 104-1
鶴田川沿岸土地改良区
TEL:0229-56-2293 FAX:0229-56-2262